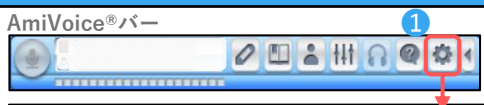
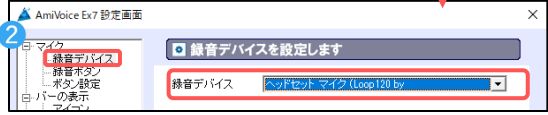


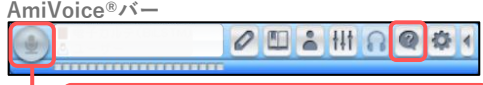
■ShokzOpenComm2UC AmiVoice® Ex7への設定

設定を変更した際は、**設定画面下にある「適用」もしくは「OK」をクリック**し設定を反映してください。

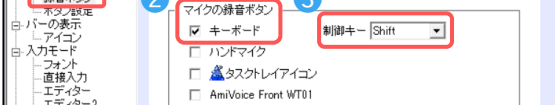
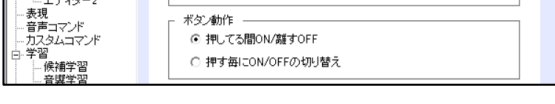
1 録音デバイス ～「マイク(Loop 120 by Shokz)」を選択～

1	AmiVoice®バー  (歯車)> 設定> マイク> 録音デバイス	
2	「録音デバイス」のプルダウンより「マイク(Loop 120 by Shokz)」を選択します。 ※「(Loop 120 by Shokz)」の数字表記などが異なる場合、文字制限のために表記が途切れている場合があります。	

2 録音ボタン ～録音のOn/Off設定：キーボードor音声コマンド・マウス～

ヘッドセットマイクは、録音のOn/Offを キーボード や 音声コマンド・マウス で行うことができます。 キーボードを利用する際は、下記の設定が必要です。 ※フットスイッチをご利用の場合は本設定は不要です。 ※「音声コマンド」については、AmiVoice®バーにある  マーク(クエスチョン)をクリックし、「便利な機能」の「音声コマンド」をご確認ください。 ※ マウスでのOn/Off ：AmiVoice®バーのマイクをクリック。マイクが赤：録音On／灰色：録音Off。	
---	--

◆「録音のOn/Off」キーボード設定方法

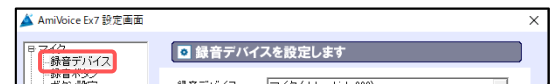
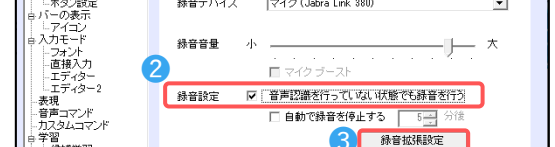
1	AmiVoice®バー  > 設定> マイク> 録音デバイス	
2	「マイクの録音ボタン」の「 ☐ キーボード」にチェック。	
3	「制御キー」のプルダウンより録音のOn/Offに利用するキーを選択します。 ※転送方法は、エディター:「Ctrl+Enter」/直接入力:「Enter」 ※転送は任意のキーを設定することはできません。	

3 録音拡張設定 ～タイムラグ解消のための設定～

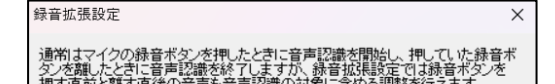
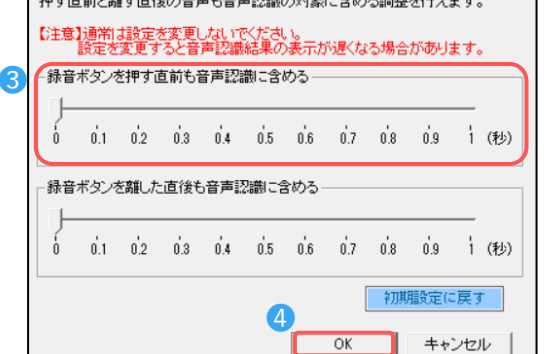
本マイクは、録音状態に移行してから実際に発話可能となるまでに、若干のタイムラグが発生します。そのため、録音ボタンを押してすぐに話し始めると、音声の冒頭部分が録音されない場合があります。話し始めが入りづらいという場合は、下記いずれかを実施してください。

- 1) 録音ボタンを押してすぐに発話を開始するのではなく、一拍おいてから発話するようにする
- 2) 下記の「◆設定」を実施する

◆設定 ※AmiVoice® Ex7 ver7.60～

1	AmiVoice®バー  > 設定> マイク> 録音デバイス	
2	「録音設定」の「 ☐ 音声認識を行っていない状態でも録音を行う」にチェック。	

◆最初の部分が欠ける場合の調整方法 ※AmiVoice® Ex7 ver7.60～

1	AmiVoice®バー  > 設定> マイク> 録音デバイス	
2	「録音設定」の「 ☐ 音声認識を行っていない状態でも録音を行う」にチェック。	
3	「録音拡張設定」をクリック。 「録音ボタンを押す前後も音声認識に含める」のゲージを0.1秒から徐々に調整していきます。 ※「 ☐ 音声認識を行っていない...」のチェックがないと「録音拡張設定」はクリックできません。	
4	「録音拡張設定」画面下の「OK」をクリック。	

設定を変更した際は、**設定画面下にある「適用」もしくは「OK」をクリック**し設定を反映してください。

4 音量・感度の調整

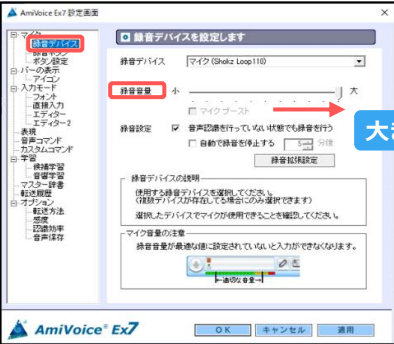
本ヘッドセットマイクは周囲の関係ない音を拾いにくくなっています。
そのため、AmiVoice® Ex7の録音音量・感度を高めに設定する必要があります。

AmiVoice® Ex7の設定画面にて録音音量・感度をそれぞれ高めに設定してください。

1) 音量設定

1

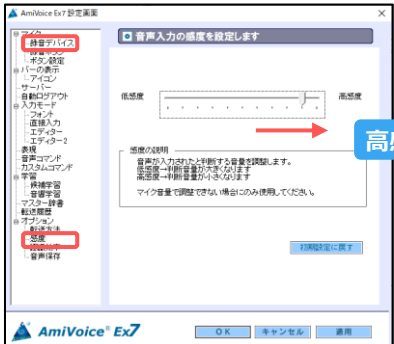
AmiVoice®バー  歯車 > 設定 > マイク > 録音デバイス



2) 感度設定

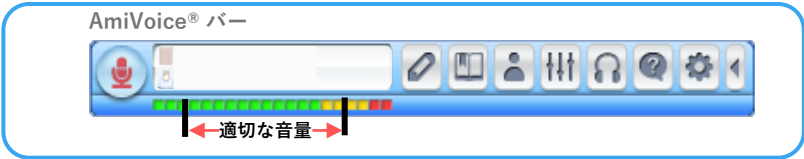
1

AmiVoice®バー  歯車 > 感度

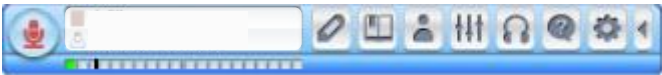


◆適切な音量

適切な音量かは、AmiVoice®バー左下にある音量ゲージで確認します。
発話した際に音量ゲージが下図「<適切な音量>」の範囲内になるよう音量・感度を設定してください。



× 音量が大きすぎ



× 音量が小さすぎ



○ 適正な音量